

忘年小網代の森散策報告(2021年12月12日(日))

昨年迄の忘年山行は1泊2日で行われていたが、今年はまだ「新型コロナウイルス」に不安を感じていた
ので、“日帰りの近間”にしようということで、三浦半島の「小網代の森」にして、後は“鮪で舌鼓を打つ”ことに決
まった。京浜急行が発行している、電車+バスに鮪食事券をセットにした「みさきまぐろ切符」などがあるが、使
用できるお店が限定されるので、使用しないことにした。結果的には正解だった。

集合場所の「三崎口駅」に9時に集まったのは、伊藤、荻野、三浦さんに久しぶりに参加された早坂さんと
合計5名だった。時節柄か駅前には人はあまり多くない。早速バスで引橋へ向かう。

暖かな晴天のもと、引橋バス停(海拔約55m、本日の最高点)から脇道に入るとすぐ、前回お世話になった
レストラン:「ひげ爺の栖(スミカ)」があった。少し下って「小網代の森」入口に着く。「小網代の森」は都会では
珍しい、山頂部の水源地から森、湿地、干潟と海辺までの生態系が保たれていることで、貴重な自然である。
入口から立派な歩道を下って行く。プラスチック製の踏み板は濡れていて滑りやすいが、しっかり横筋が切っ
てあるので安心できる。前回来たのは2019年5月だったが、今は緑・赤も少なく、しかも両側の傾斜地の高
木に枯れた木や倒木が目立つのが残念だ。わずかにナナカマドの紅葉が目につく位だった。小さな流れが現
れたが水は綺麗で、泡立っているようなことはない。蛍やトンボも生息している。

平らになると一部、土道になりぬかるんでいる。でも大部分はプラ歩道だ。やがて「やなぎテラス」に着き、熱
くなったので、皆さん一枚上を脱いだ。すぐ「えのきテラス」に到着。ここで休憩、まだ10時なので、油壺辺りで
昼食と考えていたので早すぎる、時間調整のためゆっくりする。前回5月にはこの先、150mの海辺の干潟に
「アカテガニ」を見に来たのだが、今は砂にもぐって出てこない。「えのきテラス」の周りは「ハマカンゾウ」
(ニッコウキスゲと同類)の群生地だそうで、“下草刈り”がされていた。また「宮ノ前入口」側斜面付近では、来
年に備えて5~6名の人がチェーンソーなどを使ってつる草、竹笹や下草刈りをしていた。

30分位休憩後、宮ノ前峠方向に向かう。峠を下ると小網代湾岸に出て、「白鬚神社」があった。「三浦七福
神」の寿老人を祀っていると。ここに「カンカン石」という、叩くと“カンカン”と金属的な音がする石があった。三
浦さん曰く、「内部に空洞があるのだろう」と。ここから、小網代湾越しに富士山が望めた、今日は冬にしては暖
かく、少し霞んで見えたが。湾内には多くのヨットが係留されていた。また左手には「シーボニアマリーナ」なる
高級マンション群が見えた。

「シーボニアマリーナ」前から坂を登って県道へ出る。油壺へ向かうが、店などは少なく、不安になったので、
道脇で車の手入れをしていた地元の人に訊いたら、「今は油壺には食堂は一軒きりなく、今日は開店している
か分からない」と教えてくれた。そう云えば「油壺マリンパーク」は本年9月末で閉館してしまった。「新型コロナ
ウイルス」の影響だろうか、それとも時代の趨勢か、町全体が疲弊してしまったのだろう。なんともやり切れない
思いだ。昔、小学生の時遠足でこの「油壺マリンパーク」に行ったという方がおられたが。

油壺へ行くのは止めて、バスで一旦引橋まで戻り、乗り換えて三崎へ行くことにした。「シーボニア入口」バ
ス停にたどり着いてみると、幸い15分程でバスが来る(朝夕は1時間3本位だが、日中は1本きりないのだ)。

そのうち、「三崎へ行かずに、また「ひげ爺の栖」のレストランに行こうか」ということになった。

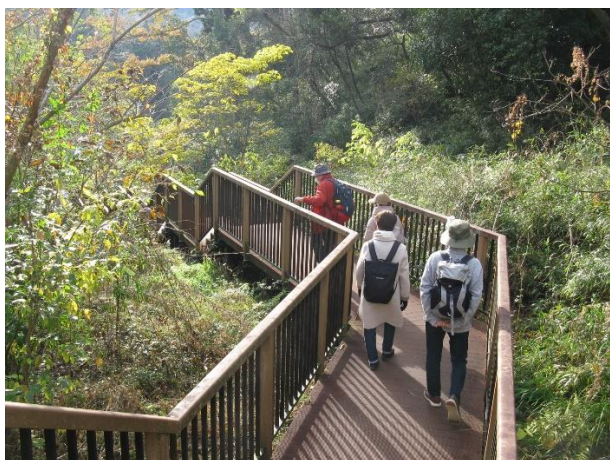
ジャスト 12 時に「ひげ爺の栖」に着いた。ここは部屋数が多いので、普通の住居というより会社の保養施設だった感じがする。落ち着いて寛げる雰囲気だ。前回と同じ部屋だが、今はテーブル、椅子になっていた。ただ、「新型コロナ」対策のため、目の前にはアクリル板の遮蔽版があり、2 人と 3 人の 2 卓に分かれて座れ(即ち、卓をくっつけてはいけない)と厳命された。結構、結構。

皆さん、「鮪のずけ」ののった「小網代定食」をご注文、飲み物もそれぞれ任意ということになった。昼間のせいか、顔ぶれのせいか、三浦さんもあまり過ごされなかった。一年の締めくくりとしては、ビスターリの実施が今一つで、どうしても「新型コロナ」のせいになってしまいました。恒例の「勤務評定」の提出もなく、ほっとしたところですが、でも「来年は頑張りましょう」という決意表明は聞こえてきたか、こなかったか、少し曖昧でしたが、まあ努力しましょう。久し振りに早坂さんの厳しい辛口時事評論が聞かれました。

13 時半にお開きになり、バスで三崎口駅に戻った。駅前売店に活きのよい栄螺、蛤などが売られていたが、お買い上げいただけなかった。皆さん京浜急行に乗車、横浜駅で車内解散となった。

来年は 1 月 9 日(日)に「とみやま水仙郷」、16 日(日)に「吾妻山:新年山行」が決まっています。是非ご参加ください。

以上 陽田



立派な遊歩道



白鬚神社



小網代湾から富士山を望む